



庭と共にある心地よい夏の間



2枚のガラス戸がもたらす冬の温もり



木で作ったベッド、収納はたっぷり  
今は傍らのベビーベッドとなり  
母子ともに安眠できる。



Kuniyoshi Architects & Associates

昔ながらの建具  
引き込み戸、引き違い戸、硝子戸、  
格子戸、網戸、板戸、襖、障子。  
畳から無垢板に・・・現代の様々な生  
活シーンが生まれてきますね。  
この家にはなかった濡れ縁を少し  
広くとってみました。デッキですね。  
子たちが庭に親しみながら、  
開かれた書斎へと遊び廻れそうな  
予感がします。



國吉設計事務所  
Kuniyoshi Architects & Associates

Post Card

料金別納郵便

### 残暑お見舞い申し上げます

酷暑が続く夏でした。夜には虫の音も聞かれますが、  
皆様いかがお過ごしでしょうか？

#### “縁側とともにある家”

北大路の“昭和の家”を“これからの令和の家”へと改修致しました。

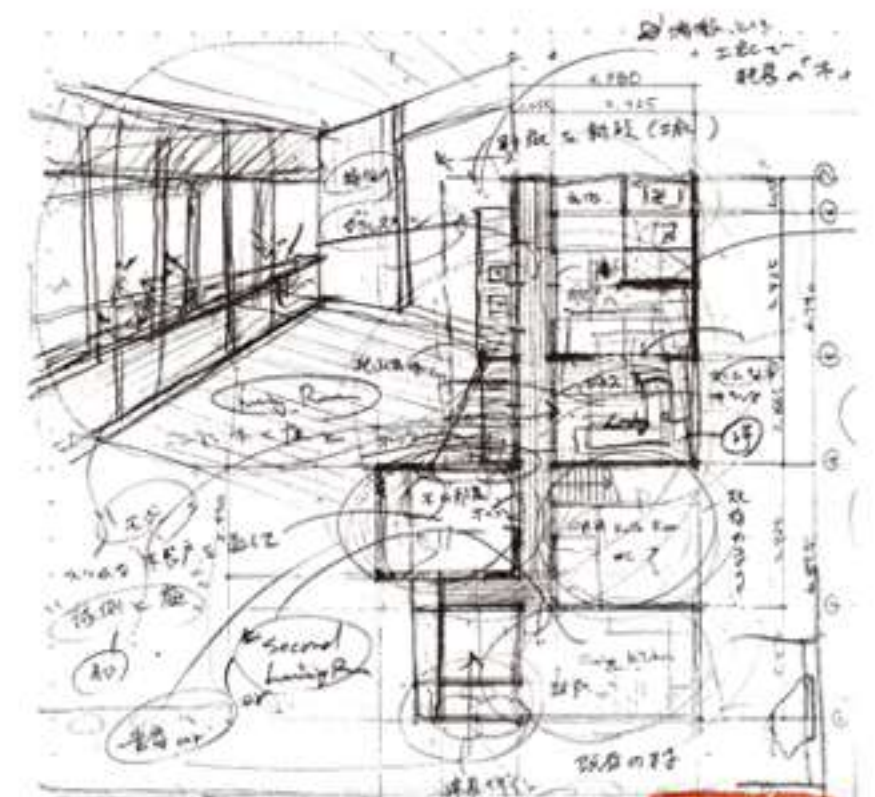
自然を受け入れながらも、やさしく自由に閉ざしてくれる  
日本の“建具の文化”から更なる思考を重ねてみました。

庭師が蹲踞や飛石の配置を移し変えいただき、庭木も整え  
おじい様の代から受け継いだ昭和の家を、

今、とても風通しの良くて温もりのある

これからの“令和の家”へと進め新しい生活が始まりました。

離れ過ぎず、近づき過ぎず、日本の習慣がこれからも息づいて参ります。 2020 Summer



國吉公一

